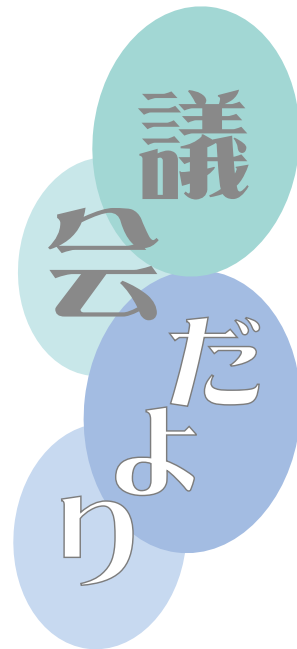


民政クラブ 森谷政義	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度予算の重点配分と留意点について</li> <li>合併特例債をはじめとする市債の発行と償還計画について</li> <li>税収見通しと市税や市営住宅使用料等の収納状況と滞納対策について</li> <li>●市庁舎及び市民会館の建替について</li> <li>●統合教育施設の基本設計と安全対策について</li> <li>●小学校の英語教育必修化等への取り組み状況について</li> <li>●通学路の整備と安全対策について</li> <li>●空き家バンクの実態と課題について</li> <li>●中心市宣言後の三豊市との関係について</li> <li>●本市西部と四国中央市を結ぶ国道11号バイパス建設の推進について</li> <li>●TPP（環太平洋連携協定）についての本市の考え方について</li> <li>●自治基本条例制定へ向けた取組み状況について</li> </ul>
市民クラブ 西山正勝	<ul style="list-style-type: none"> <li>●誰もが住みたいまちの実現について</li> <li>●新年度の予算編成について</li> <li>●行政評価について</li> <li>●鳥インフルエンザ対策について</li> <li>●農地・水・環境保全事業の制度拡充について</li> <li>●環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）について</li> <li>●市道栗屋堂之岡線の進捗状況について</li> </ul>
市民フォーラム 原俊博	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施政方針について</li> <li>●平成23年度予算について</li> <li>●市営住宅について</li> <li>●教育施策の指針について</li> <li>●新学習指導要領について</li> </ul>
公明党 安藤忠明	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公共施設について</li> <li>●地上デジタルへの対応について</li> <li>●火災について</li> <li>●児童手当について</li> <li>●予防接種について</li> <li>●障害者施策について</li> </ul>
日本共産党 安藤清高	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新年度予算編成について</li> <li>●市庁舎及び市民会館建設について</li> <li>●合併特例債について</li> <li>●国民健康保険の改善について</li> <li>●ごみの現状と減量について</li> <li>●TPP参加による農林水産物への影響について</li> <li>●少人数学級の早期実現について</li> </ul>
社会民主党 篠原重寿	<ul style="list-style-type: none"> <li>●財政運営について</li> <li>●公共施設整備について</li> <li>●介護保険計画について</li> <li>●住民サービスと職員配置について</li> </ul>

## 個人質問

大矢一夫 (民政クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●街づくりについて</li> </ul>
詫間茂 (民政クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市街地のトイレの増設について</li> <li>●健康寿命を延ばす方策について</li> <li>●買い物難民対策について</li> <li>●ホームページの充実について</li> <li>●健康増進施設について</li> </ul>
大平直昭 (民政クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民参加による公共施設の検討について</li> <li>●総合評価方式入札制度について</li> <li>●市民アンケートについて</li> <li>●自治基本条例について</li> </ul>
黒川健太郎 (民政クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国勢調査について</li> <li>●中心市街地活性化事業について</li> <li>●観音寺市独自の景気対策について</li> </ul>
立石隆男 (民政クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●庁舎敷地内の整備について</li> </ul>
伊丹準二 (民政クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自主防災について</li> <li>●一人暮らしの高齢者対策について</li> <li>●285カ所の公共施設整備について</li> <li>●新庁舎・市民会館の建設について</li> </ul>
大久保隆敏 (市民クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域サロンについて</li> </ul>
井上浩司 (民政クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●協働のまちづくりについて</li> <li>●これからの医療政策について</li> </ul>
高橋照雄 (無所属)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会資本の老朽化について</li> <li>●財政について</li> </ul>
石山秀和 (公明党)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災的観点からの職員数について</li> <li>●元気地域商品券事業について</li> <li>●国民健康保険高齢受給者証について</li> <li>●余剰施設及び未利用地の現状について</li> <li>●滞納整理の実態について</li> <li>●小学校・幼稚園・保育所の防犯対策について</li> </ul>
友枝俊陽 (市民フォーラム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新庁舎・市民会館の整備計画について</li> <li>●教育について</li> </ul>
安藤康次 (民政クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●行政委員の報酬について</li> <li>●公共施設整備事業の課題と提案について</li> </ul>
五味伸亮 (市民フォーラム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民会館について</li> <li>●街づくりについて</li> <li>●地域自治区制度について</li> </ul>

●印については、質問と答弁の内容を次ページ以降に掲載しています。



## 3月定例会の主な内容

### 一般会計予算など原案可決 2日招集・会期27日間

平成23年第1回定例会が3月2日招集され、28日までの27日間の会期で開かれました。

白川市長から平成23年度一般会計の予算として、歳入・歳出予算の総額229億1千万円を計上することなど合わせて29議案が提出され、議案の提案理由の説明がありました。

また、2日には議員から予算審査特別委員会の設置などが提案され、可決しました。

8・9日の2日間、各党派・党の代表質問と個人質問が行われ、市当局の考えをたしました。当初と補正予算関係の議案は、今回初めて全議員で構成される予算審査特別委員会に付託され10日から15日にかけて開催されました。その他の議案は総務・建設経済・文教民生の各常任委員会にそれぞれ付託され、17日から22日にかけて開催し、慎重に議案などの審議を行いました。

最終日の28日、各委員長から付託された議案などの審議結果が報告されました。

さらに、当局から平成22年度一般会計補正予算として、歳入・歳出予算の総額280億5,398万6千円とする追加議案の提出が1件あり、採決の結果、すべての市長提出議案を承認・可決しました。また、請願1件が不採択となりました。そして、議員提出議案1件および意見書案1件が提案され、それぞれ可決・採択されました。なお、公共施設等整備調査特別委員会の中間報告が委員長からありました。

なお、請願・陳情および審議結果は、15ページ「審議した議案等とその結果」とおります。

### 3月定例会で次のとおり委員の候補者の推薦に同意しました

○人権擁護委員

守谷 信雄（74歳） 大野原町

# 質問

と

# 答弁

## 代表質問

### 民政クラブ

森谷 政義

#### 市庁舎及び市民会館の 建替えについて

**質問** 南海地震など自然災害に備え、公共施設の整備は急務である。市庁舎や市民会館も耐震診断の結果、建て替えが必要との結論に達し、当局の意見として議会に示され、議会でも特別委員会を設置し、議論している。内容は、新庁舎を現在の市民会館の所に、新市民会館は現在の南小学校の所に建設する計画である。合併特例債の期限までに事業完了する計画だが、場所選定の優位性および決定の経緯と施設の規模を伺う。

**答弁** 昭和38年完成の市役所の耐震診断結果は、強度

が著しく劣り大地震発生の際、崩壊の危険性が非常に高い。また、市民会館も耐震強度が低く、改修しても耐用年数の延長は期待できない。庁舎の位置はまちづくりの視点、総合振興計画、都市計画、および交通体系や利便性とともに行政機能等が集積しており、現在の場所が最適である。庁舎規模は約9,500平方メートル、市民会館は現在と同規模の約7,000平方メートルで試算している。

### 市民クラブ

西山 正勝

#### 市道粟屋堂之岡線の 進捗状況について

**質問** 本路線は、豊田・粟井地区において、大変重要な幹線道路と認識をしている。交通弱者といわれる人々が、通行に危険を感じていたところ、市が平成13年度より本事業に着手し、地元も大変喜んでいるところだが、残りの計画区間の早期完成を切望する。そこで、本路線の現在の進捗状況を伺う。

**答弁** 本路線は、道路改築事業として整備を進めている。全長は、1,270メートルで、第一期工事として、平成19年度末に450メートルが完成し、道路の供用を開始している。

現在は、豊田小学校から国道377号までの450メートルの整備を進めているが、進捗率は供用ベースで約35%である。

市としては、今後とも地元関係者などの協力を得ながら、全線の早期完成を図れるように努力していく。

### 市民フォーラム

原 俊博

#### 施政方針について

**質問** 認識および理解度において、一点だけ少しずれがある。「これから本格化する新庁舎と市民会館の整備は、特別委員会で説明申したとおり、現市民会館の跡へ新庁舎を、南小学校の跡へ市民会館を建設する」とあるが、特別委員会での市長の説明は、非常にわかりやすかった。今、ありきでなく、あるようにするためには「や」説明できるように

に、我々に下絵だけでも描かせて欲しい」とか「下絵は、市民会館の概要と周辺整備の事業費など資料づくり」の発言であった。市民会館の建設場所は、まだ流動的で最終合意は、まだ先の話であると思うが、市長の見解を伺う。

**答弁** 2月18日の公共施設等整備調査特別委員会の結論として、整備の場所は流動的でなく、同意を得たものと考えている。その際の附帯意見は、市民や特に利用者の意見を十分に取り入れ進めていく。新市民会館への進入路は、既存の出入り口に適切な動線を確保できるような整備をしたい。

### 公明党

安藤 忠明

#### 火災について

**質問** 火災後の燃え残りは、産業廃棄物と見なされるために、多大な処分費が必要となっている。市が一時的に緊急の貸し付けをするなどの方法で、支援することができないのかを伺う。



## 議会報告会の開催について(ご案内)

議会での審議内容や活動を少しでも知っていただくため、今年も「議会報告会」を開催します。

内容は、3月議会で決定した事業内容の報告と、参加者の皆さまとの意見交換も予定しています。

なお、今回は3カ所で開催しますので、都合の良い日に是非ご来場ください。

日時 5月10日(火) 午後7時～午後8時30分

場所 豊浜中央公民館

日時 5月11日(水) 午後7時～午後8時30分

場所 大野原中央公民館

日時 5月13日(金) 午後7時～午後8時30分

場所 市民会館中ホール

内容 平成23年度予算及び主な事業  
市民会館・本庁舎などの公共施設整備問題 ほか

問合せ 議会事務局 電話 23-3913



**【答弁】** 火災後の建物撤去費用に対する貸付制度は特にない。民間の火災保険などで対応していただきたいと考えている。

## 日本共産党

安藤 清高

### TPP参加による農林水産物への影響について

**【質問】** TPPは関税を原則撤廃し、農産物の輸入完全自由化を進めるものであり、日本農業は壊滅的な打撃を受ける。TPP参加で食料自給率は14%になるといふ農林水産省試算は、ほとんどの国民が外国の食物を食べて生きるということである。そのようなことは許されません。

**【答弁】** 本市でも米だけで約13億1,000万円の減収が見込まれている。食料自給率の重要性、地域経済の低迷などあらゆるところに多大な影響のあるTPP参加について、はつきりと反対表明することを求める。

**【答弁】** TPP参加で市の農産物生産に甚大な影響が出る懸念があり、新規就農者を含む農業従事者の確保や

耕作放棄地対策などに努めることが大切である。

TPPに参加した場合、農業に深刻な打撃を与え、食料自給率を急速に低下させることになる重大な問題であるので、TPP参加には反対である。

## 社会民主党

篠原 重寿

### 介護保険計画について

**【質問】** 介護保険制度も10年を超え、制度の見直しとともに今までの成果と課題を検証し、今後の方向を定める必要がある。

①わが市の高齢化状況は、②保険制度10年の成果と課題は、③平成23年度の計画見直し作業の視点は、④特別養護老人ホーム（特養）への入所待機者の状況と、施設増設の考えについて伺う。

**【答弁】** ①高齢化率（65歳以上）は、平成18年には25.6%、平成22年には27.3%に増加。

②厚労省は、「国民の60%の人が評価している」とし、少子高齢化社会の現在にお

いて、必要不可欠な制度になっっている。

③と④の計画見直しは、国の動向を注視しながらアンケート調査などを基に施設待機者の状況をふまえ、住宅・施設および地域密着型サービスの見直しについて計画に反映したい。

## 個人質問

大矢 一夫

### 街づくりについて

**【質問】** 公共施設の基本設計では、利用者数を含めた設定だけでなく、施設設計や管理・運営を含めた具体的な検討を行なうべきでないのか。施設という器だけでなく、そこでのサービスや機能を重視するため、多くの人々の意見を聞いたり、NPOなどの連携・協力を図ったりする必要があると思う。

公共施設の配置で街をどのように再生し、経済効果を上げるのかも重要である。この事業で地域経済の活性化にも繋げていく必要があると思うが、どのように考えているのかを伺う。

**【答弁】** 今回の公共施設の建設では、二次的、三次的に地元経済への波及効果が見込め、地域経済の活性化につながると思われる。市民会館の整備では、市民の参画によって意見を反映し、機能面でも利便性の高い施設として整備していきたい。運営や維持管理などは、計画を進めるなかで検討していきたい。

## 詫間 茂

### 買い物難民対策について

**【質問】** 最近、地域にある店舗が閉店してしまい、お年寄りが近くで買い物ができず生活用品の購入、さらに毎日の食事の準備にも困るという社会現象が起きている。本市でも実際に高齢化が進み、お年寄りだけの家庭が増加しており、多くの人々が買い物への不便を感じている。このような状況を打開するために、市としてどのような施策ができるのかを伺う。

**【答弁】** 本市では、介護認定を受けていない虚弱なひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象に、週2回を限度に1時間以内で、ホ

ームヘルパーを家事や買い物への支援のために派遣する生活管理指導員派遣事業を実施している。また、移動販売車事業で使う車両購入なども国の補助事業が利用できる。二丁の把握や情報の提供などにより、買物弱者対策の支援に努めたい。

大平 直昭

### 市民参加による公共施設の検討について

**【質問】** 合併特例債を活用した大型公共施設（新庁舎・市民会館）の整備計画が進んでいるが、利用者である市民の意見を取り入れることが不可欠かと思う。方法としては、パブリックコメント、懇話会、ワークショップおよび検討委員会などがあるが、まずは最低限、検討委員会の設置が必要ではないのか。

**【答弁】** 新市民会館は、若干時間的に余裕があるので、市民や文化・芸術関係団体などの利用者代表、また、識見を有する人による検討委員会において、施設内容などを十分検討し、計画に反映させたいと考えている。

また、新庁舎は、基本計画などの段階において、議会に報告するとともに、市民にとって親しみやすく利便性の高いものにするため、パブリックコメントのほか、広く市民の意見や要望を伺う方法についても検討し、ご理解を得るなかで建設に当たりたいと考えている。

## 黒川 健太郎

### 観音寺市独自の景気対策について

**質問** 市役所は、市民皆さまの幸せ・福祉・教育などのサービス集団であり毎日の市民生活に必要な役所である。今回、提案された新年度予算は市民のために、市独自の景気対策として、直ちに地場産業の育成になるよう市内の中小企業に発注をしてほしい。

**答弁** 長引く景気の低迷によって、地元中小企業も大変厳しい経営状況が続いていることは承知をしている。また、地場産業の育成は急務と考えている。このような経営環境の下、新年度予算成立後には、景気浮揚対策の一助になるよう緊急性・必要性を検討する中で、

地元中小企業の育成に十分配慮し早急な実施に取り組む。

## 立石 隆男

### 庁舎敷地内の整備について

**質問** 現在の庁舎の敷地には、複数の公共施設が混在し、駐車場不足などの問題を抱えており、来庁者やほかの施設利用者に多大な迷惑をかけている。このほど、統合教育施設に引き続き、新庁舎・市民会館建設に向けて、進んでいく事になった。庁舎と市民会館の間にある「中央公民館」や「共同福祉施設」、「働く婦人の家」・「社会福祉センター」はどうなるのか。

どういった整備計画を立てているのかを伺う。また、庁舎に含める計画は出来なのか。

**答弁** 現在、4施設には、庁舎内に置かれるべき部・課の一部が間借りしているが、新庁舎が完成すれば、新庁舎内に配置する。よって、本来の目的に沿った機能を取り戻し、社会福祉センターや中央公民館として、当分の間は使用したいと考えている。

また、管理運営も異なる別組織であるので、これらの施設を含めた庁舎計画は考えていない。

## 伊丹 準二

### 285カ所の公共施設整備について

**質問** 1市2町合併後、285カ所の公共施設管理につき、公共施設整備および管理方針が示された。本市の現状では、市民プール、キャンプ場、コイン館、ちようさ会館および道の駅などで、その利用において「どうにかならないのか」と思われる物件が多数ある。成功や失敗の事例も挙げ、今後の具体的な取り組みを伺う。

**答弁** 事業内容は、現況調査、劣化診断、利用状況調査、データベース作成及び中期修繕計画の策定等で、50棟余りを予定している。今回、調査対象外の施設は、各施設の状態によって、対応を引き続き行なう。また、成功や失敗の事例は、利用状況の一面だけを見て判断すべきではないと考える。今後は、現在の施設の有効活用や統合、廃止について

検討が必要と考える。

## 大久保 隆敏

### 地域サロンについて

**質問** 平成23年度施設方針の中で、地域サロンをスタートさせ、地域の人々が知恵を絞り、力を結集し、運営に参画することで高齢者を中心とした世代間の交流が図られるよう支援すると述べられた。

団塊世代と呼ばれる昭和22年から昭和24年生まれの人、現在3,600人いる。経験も豊富であり、組織マネジメントにも長けている団塊世代の熟年パワーを地域サロンの規格運営などに活用してはどうか。

**答弁** 団塊世代の方が定年退職されて、何か社会や地域に貢献できないのか、と考えている人々が多くいると考えられるので、これまでの経験を活かし、協力を願えたらいいと思う。地域サロンを通して地域の三世交代交流を図り、地域の人を知ること、お互いに支えあう地域づくりができればいいと考えている。



## 井上 浩司

### 協働のまちづくりについて

**質問** NPOやボランティアは、柔軟性、専門性、そして多様性などを備えた担い手として、その重要性が認識されてきている。マンパワーの育成としての人づくりおよび財政的支援の必要性について伺う。

**答弁** 支援システムの構築、またNPO法人の育成や人づくりについてこれからは関係分野等の連絡を密にするなど連携を深めていきたい。また、NPO法人の窓口である県民活動・男女共同参画課が実施している勉強会・講演会・フォーラムへの参加を促す支援や、他市の実施状況を調査するなど、今後市でできることなどについて考えていきたい。さらに、23年度より「市民団体等活動促進事業」を開始する。この事業は、自主的に地域づくり活動をする市内のボランティア団体などを対象に、活動に要する経費の一部を支援する事業である。





## 高橋 照雄

## 社会資本の老朽化について

**質問** 道路や上下水道など社会資本の老朽化による更新や修繕費用を将来の潜在的負債ととらえ、財政健全化を試算すると、予想外の大きな財政負担の発生が予想され、苦慮している自治体が多くある。本市の現状と対応策を伺う。

**答弁** 今後、社会インフラ施設が本格的な更新時期を迎えるなか、橋梁は、毎年必要な箇所から維持修繕を行なっているが、費用が膨大になることから、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、計画的な修繕を図っていく。下水道では、敷設後25年以上経つ管路施設は、更新などの判定を行い、稼働後30年以上の処理施設は、改築計画に基づき更新などに取り組み機能維持を図っている。平成25年度からは、処理場・ポンプ施設など長寿命化計画に基づき、公共下水道事業の経営健全化に務める。水道は、水道事業基本計画に基づき健全な水道経営を維持していく。

## 石山 秀和

## 国民健康保険高齢受給者証について

**質問** 仕事を退職した70歳を迎えた高齢者から、年金生活を送りながら後期高齢者医療制度へ加入するまでの間、医療費の軽減を受けられる受給者証の発行に感謝の声が多い。

この制度は、国保加入で70歳を迎えた人に国民健康保険被保険者証とは別に「国民健康保険高齢受給者証」が交付されるが、病院の会計で、この受給者証を忘れると3割負担することになる。自己責任ではあるが、困っている。そこで、毎年更新される国民健康保険被保険者証と一体化した保険者証にしてはどうか。

**答弁** 現在、国民健康保険被保険者証と国民健康保険高齢受給者証は別々に交付している。県下では、東かがわ市が1枚に併記して交付している。本市で実施するならば、独自のシステム改修と別途経費が必要になる。利便性を考えると一体化することが望ましいことから、

県下の担当者などで提案するなど、協議や検討を行いたい。

## 友枝 俊陽

## 新庁舎・市民会館の整備計画について

**質問** 今回の新庁舎・市民会館の整備計画は、大きなプロジェクトだからこそ市民に対し丁寧な説明が重要だと思う。市長自らが中学校区や公民館区などで、説明会を開催してはどうか。

市長自らが丁寧な説明をすることで、市民の理解度も高まるのではないのか。また、多くの市民の声を聞くことで、より良い整備計画(案)になるのではないのか。

**答弁** このプロジェクトは、今後のまちづくりにおいて、大きなものであると考えている。しかし、中学校区や公民館区などでの説明会の開催は今のところ考えていない。広報紙やケーブルテレビなどで市民の皆さまに、概要などを段階ごとに説明していきたいと思っている。また、さまざまな機会に出席する機会が多くあるので、その際にも説明を

行い、市民の声も聞きたいと考えている。

## 安藤 康次

## 行政委員の報酬について

**質問** 昨年の12月19日、新聞社のアンケート調査で、県や各市町が任命する行政委員の報酬は、県内の約4割が制度の見直しを考えているとの記事であった。本市の話として「今後、日額制に改めるべき」と記事に載っていたが、平成23年度に報酬のあり方について審議会を立ち上げ、諮問を行なう計画があるのかを伺う。

**答弁** 新聞社のアンケートに回答したように、現在の報酬は年額や月額になっており、今後、業務に応じた報酬に見直す必要があると考えている。また、平成23年度に審議会をつくり、諮問を行なうかどうかについては、アンケートに答えたから即やるというものではなく、今後、県内外自治体の動向を注視しながら検討していきたい。



## 五味 伸亮

## 街づくりについて

**質問** 私の地元、室本の翹は伝統文化、技術や味は勿論のこと、真似できない歴史があり、まち歩きでも好評だったと聞いている。本市のイリコにも劣らない魅力と可能性があり、新たな特産品として広くPRをして頂けるよう強く提案する。甘酒は高屋祭りなどでも欠かせない存在で、全国的にも評価されている。それ以外でも本市には多様な品があり、新たな特産品を掘り起こし、PRすることでまちおこしに繋がると思う。積極的に取り組む課題であると考えるが、当局の姿勢を伺う。

**答弁** 室本の翹は、昨年「翹の里めぐり」を実施し、蓮光院や皇太子神社と翹など、地元の方の説明を受けた。特産品づくりは、関係団体などと連携を図り取り組むことが重要になる。今後とも地域産品を掘り起し、地元や関係団体と連携する中、街づくりに取り組んで参りたい。

# 審議した議案等とその結果

## ●第1回（3月）定例会

議案名	審議結果
<b>※市長提出議案</b>	
専決処分承認について（平成22年度観音寺市一般会計補正予算（第7号））	承認
観音寺市職員定数条例の一部改正について	原案可決
観音寺市長及び副市長の給料の特例に関する条例の一部改正について	〃
観音寺市教育委員会教育長の給料の特例に関する条例の一部改正について	〃
観音寺市特別会計条例の一部改正について	〃
観音寺市手数料条例の一部改正について	〃
観音寺市国民健康保険条例の一部改正について	〃
観音寺市工場等立地促進条例の一部改正について	〃
観音寺市農村地域工業等導入地区立地企業助成条例の一部改正について	〃
人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
平成22年度観音寺市一般会計補正予算（第8号）	原案可決
平成22年度観音寺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	〃
平成22年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計補正予算（第3号）	〃
平成22年度観音寺市老人保健事業特別会計補正予算（第2号）	〃
平成22年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	〃
平成22年度観音寺市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	〃
平成23年度観音寺市一般会計予算	原案可決（反対1人）
平成23年度観音寺市競輪事業特別会計予算	原案可決
平成23年度観音寺市国民健康保険事業特別会計予算	〃
平成23年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計予算	〃
平成23年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計予算	〃
平成23年度観音寺市介護保険事業特別会計予算	〃
平成23年度観音寺市介護予防サービス事業特別会計予算	〃
平成23年度観音寺市航路事業特別会計予算	〃
平成23年度観音寺市粟井財産区特別会計予算	〃
平成23年度観音寺市粟井坂瀬山林特別会計予算	〃
平成23年度観音寺市公共下水道事業特別会計予算	〃
平成23年度観音寺市農業集落排水事業特別会計予算	〃
平成23年度観音寺市水道事業会計予算	〃
平成22年度観音寺市一般会計補正予算（第9号）	〃
<b>※議員提出議案</b>	
特別委員会の設置について	原案可決
地方自治法第180条第1項に基づく観音寺市長専決事項の一部改正について	原案可決（反対1人）
<b>※請願</b>	
T P Pの参加に反対する請願	不採択（賛成2人）
<b>※意見書案</b>	
J K A交付金制度の改善を緊急に求める意見書	採 択
環太平洋戦略的経済連携協定（T P P）への参加に慎重な対応を求める意見書	〃

### — 広聴広報委員会 —

皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。

- ◆委員長 篠原重寿 ◆副委員長 大平直昭
- ◆委員 西山正勝 ◆委員 安藤清高
- ◆ " 石山秀和 ◆ " 井上浩司
- ◆ " 安藤康次 ◆ " 友枝俊陽

〒768-8601 観音寺市坂本町一丁目1番1号  
 ☎ 23-3913 FAX23-3914  
 Eメール gikai@city.kanonji.lg.jp



### 議会からのお知らせ

- 次回の定例会は6月の予定です。本会議はいつでも傍聴できます。
- 本会議の録画映像をインターネット配信しています。いつでもご覧いただけますので、ご利用ください。

<http://www.city.kanonji.kagawa.jp/>